

とやま

県広報とやま

2002

3月号

No.392

富山県

特集 4月から新しい情報公開制度がスタートします



平成7年秋にジムを設立し、2年連続で中日本新人王を育てたトヤマボクシングジムの桃井悟会長（中央）とプロや練習生、トレーナーの皆さん。

1月

12日

計画実現をめざして 県民男女共同参画計画策定 記念フォーラム

県民男女共同参画計画の策定を記念したフォーラムが、一月十二日、富山市で開催されました。

県から計画の概要を説明した後、県男女共同参画審議会会長の金森弘子さんと委員の石黒厚子さん、五箇献一さんが計画策定にあたっての経緯や議論となったポイントを紹介。「意識啓発が足りないので、効果的な方法でPRしていくべき」、「育児と高齢者の介護の負担を減らすためにハード面



計画実現に向けてさまざまな提言が出された

の整備も必要」、「女性の経営への参画、管理職への登用に対して行政も支援するべき」など、さまざまな意見が提案されました。

また、早稲田大学の岡澤憲英教授が、「二十一世紀の政策課題・少子高齢化と男女共同参画社会」と題して記念講演を行い、約三百人の参加者が男女共同参画について理解を深めました。

県では、計画の実現をめざして、さまざまな具体的施策を展開していきます。

問合せ

県庁女性青少年課

☎076(444)3137

1月

16日

貴重な提言を県政へ 県イメージディレクター懇 談会

県外で活躍中の本県ゆかりの方々による県イメージディレクター懇談会が、一月十六



活発な意見交換が行われた懇談会

日、都内のホテルで開催されました。

今回はイメージディレクターのうち、長澤忠徳さん(デザイナー)、藤子不二雄Aさん(漫画家)、高野悦子さん(岩波ホール総支配人)、滝田洋二郎さん(映画監督)の四人が出席し、中沖知事らと懇談しました。

出席者からは、映画の撮影に活用できるような古い街並みや民家を保存するような活動を、「高齢者の活性化につながる創造の場を提供すれば」、「外国語の修得のためには小さいころから興味を持たせる必要がある」など、数多くの提言が出されました。

県では、こうした提言を踏まえ、今後、本県のイメージアップをさらに進め、明るく

元気な富山の姿を全国に発信していきます。

問合せ

県庁広報課

☎076(444)3134

1月

17日

雇用確保への対応を検討 ワークシェアリングシンポ ジウム、総合雇用相談会

一月十七日、ワークシェアリングシンポジウムが富山市で開催され、県内企業の労使関係者など約二百五十人が参加。一人当たりの労働時間を減らし、仕事を分かち合うことで雇用確保を図るワークシェアリングについての理解を深めました。

同シンポジウムでは、慶應義塾大学の樋口美雄教授が、「ワークシェアリング実現のために」と題し講演。オランダやフランスなどの事例を用いながら、「ワークシェアリングは働

き方や暮らしそのものを変えていく革命的な動き」と強調しました。

また、同時開催の総合雇用相談会では、事業者を対象とした助成金などの支援制度や労働・社会保険、ワークシェアリング実施上の諸問題などについての相談がありました。

県では、厳しい雇用情勢に対応するため、今後も総合的な雇用対策事業を行っていきます。

問合せ

県庁労働雇用課

☎076(444)8897



事例を盛り込みながらワークシェアリングを分かりやすく解説した樋口教授の講演



CONTENTS 目次

TOPICS【トピックス】	1
県政の動き / 県ナビとやま	2
特集	3
4月から新しい情報公開制度がスタートします	
CLOSE UP【クローズアップ】	7
とやまのみちをフレッシュアップ!	
とやま感動案内	9
富山県花総合センター エレガガーデン	
とやまのやる気・元気	11
2年連続で中日本新人王を育てたトヤマボクシングジム会長 桃井 悟さん	
インフォメーション	12
県政ミニガイド	13
行ってみよう情報	14
とやま音のある風景	15
ため池から飛び立つ鴨 [小杉町]	

県政の動き

1/12 ~ 2/15



- 1月 12日 県民男女共同参画計画策定記念フォーラム
- 16日 県イメージディレクター懇談会
- 17日 ワークシェアリングシンポジウム、総合雇用相談会
- 20日 県議会議員補欠選挙
- 22日 金融機関ネットワーク会議
- 26日 『釣りバカ日誌13』いきいき富山実行委員会設立総会
- 30日 地域伝統芸能全国フェスティバル実行委員会設立総会
- 2月 1日 高岡市土地改良区、魚津市土地改良区合併認可書交付式
- 7日 県議会臨時会
- 8日 第5回ベンチャープラザとやま
- 9日 となみ野田園空間シンポジウム2

県の施設ナビゲーター **県ナビ** とやま No.7

県埋蔵文化財センター

歴史ロマンにあふれる先人の暮らしぶりを紹介しています



県埋蔵文化財センターでは、県内から出土した埋蔵文化財の保存と活用を図り、先人の優れた知恵や暮らしぶりを皆さんに紹介しています。

(1) 資料の収蔵・保管、企画展などの開催

県内の優れた考古資料を集め、企画展(年2~3回)を開催しています。また、子ども向け企画展の実施など小・中学生の歴史学習を応援しています。(企画展「とやま遺跡めぐり35」開催中 9/5まで)

(2) 埋蔵文化財の普及活動

センター職員が発掘成果を語る「県民考古学講座」、古代の火起こしや、まが玉作りなどを親子で体験する「ふるさと考古学教室」などを開催しています。

(3) 発掘調査などの埋蔵文化財の調査・研究

県内の市町村が行う発掘調査を支援し、出土品の保存を行っています。また、400以上もある富山の中世城館遺跡の調査を行っています。

【トピックス】

考古体験の場として、体験学習棟が3月下旬に完成します。また、国の重要文化財に指定されている境A遺跡(朝日町)の縄文土器の修復が一部終わり、展示公開しています。



DATA

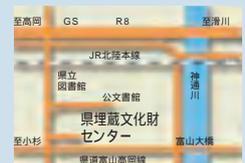
県埋蔵文化財センター

〒930-0115
 富山市茶屋町206-3
 ☎ 076(434)2814
 FAX 076(434)2859
 E-mail maizobunka@pref.toyama.jp

開館時間 午前9時から午後5時まで

ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/branches/3041/3041.htm>



4月から新しい情報公開制度がスタートします

一定の出資法人に対して、情報公開に必要な措置を講じるこの努力規定を定めました。今後、県に準じた情報公開に努めていきます。

一定の出資法人：県が資本金、基本金等の二分の一以上を出資している法人

出資法人の情報公開

決裁・供覧済みの文書に限らず、職員が組織的に用いるものとして保有している文書（組織供用文書）まで拡大し、電磁的記録も対象となります。

開示対象文書の拡大

情報公開を実施する機関に、新たに「議会」、「公安委員会」、「警察本部長」が加わります。

実施機関の拡大

「県民」に限らず、どなたでも請求できます。

請求権者の拡大

条例の目的に、県民の皆さんが県政について知る権利の尊重と県が進める各種施策を皆さんに説明する責務（説明責任）が重要であること

「知る権利」説明責任の明記

見直しのポイント

情報公開制度の2つの柱

公文書の開示制度

県が保有している公文書を皆さんの求めに応じて開示します。

情報の提供施策・公表制度

県民の皆さんが県政に関する情報を正確で分かりやすく、しかも迅速・簡単に得られるよう、情報の積極的な提供・公表に努めます。

県の積極的な情報提供

本県の情報公開制度には、請求に基づき公文書を開示する「公文書の開示制度」と、県が県政情報の提供を積極的に進める「情報の提供施策・公表制度」の二つの柱があります。

県の施策や県民生活に身近に関わる情報などは、皆さんからの開示請求を待たずに、県が積極的に広く提供しなければならぬのは言うまでもありません。

具体的には、広聴活動により県民の皆さんが必要とする情報を把握するとともに、報道機関への情報提供をはじめ、広報誌、新聞、テレビ、パンフレット・統計書などの刊行物、インターネットなど様々な媒体を活用し、正確で分かりやすい情報の提供に努めることとしています。

情報公開の窓口

情報公開についてのご質問は、次のところまでお問い合わせください。また、情報公開総合窓口では、県が発行した刊行物等の行政資料の閲覧なども行っています。

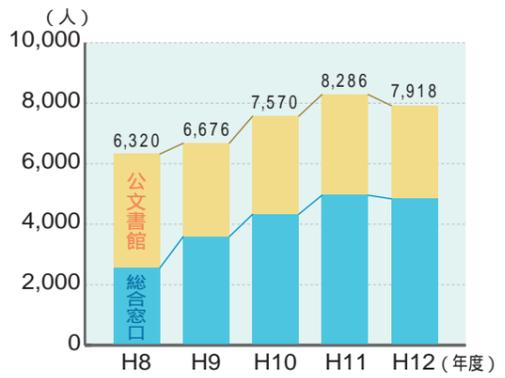
窓 口	受付対象文書	利用情報	場 所
情報公開総合窓口 （県文書学術課情報公開係） 県庁東別館2階	すべての実施機関の公文書	利用時間 午前8時30分～午後5時 休業日 土・日曜、祝日、年末年始 （12/29～1/3） ☎076(444)3154	
公文書館情報公開窓口 富山市茶屋町	公文書館が保存する公文書	利用時間 午前9時～午後5時 休業日 土・日曜、祝日、年末年始 （12/28～1/4） ☎076(434)4050	
公安委員会・警察本部 情報公開窓口 警察本部1階 今年4月から設置	公安委員会及び警察本部長の公文書	利用時間 午前8時30分～午後5時 休業日 土・日曜、祝日、年末年始 （12/29～1/3）	

このほか、議会、各行政委員会、公営企業管理者の窓口でも、それぞれが保有する公文書の開示請求を受け付けています。



4月から新しい情報公開制度がスタートします

情報公開窓口利用者数の推移



情報公開を巡る住民意識の高まり

本県では、県民の皆さんに県政に対する理解と信頼を深めていただくため、情報公開条例を昭和六十二年から施行し、情報公開制度はこれまで多くの皆さんに利用されてきています。

行政情報の公開を取り巻く社会情勢が大きく変化するなか、県では、より公正で開かれた県政を進めていくため、情報公開条例を大幅に見直しました。今年四月一日から新しい情報公開制度がスタートします。

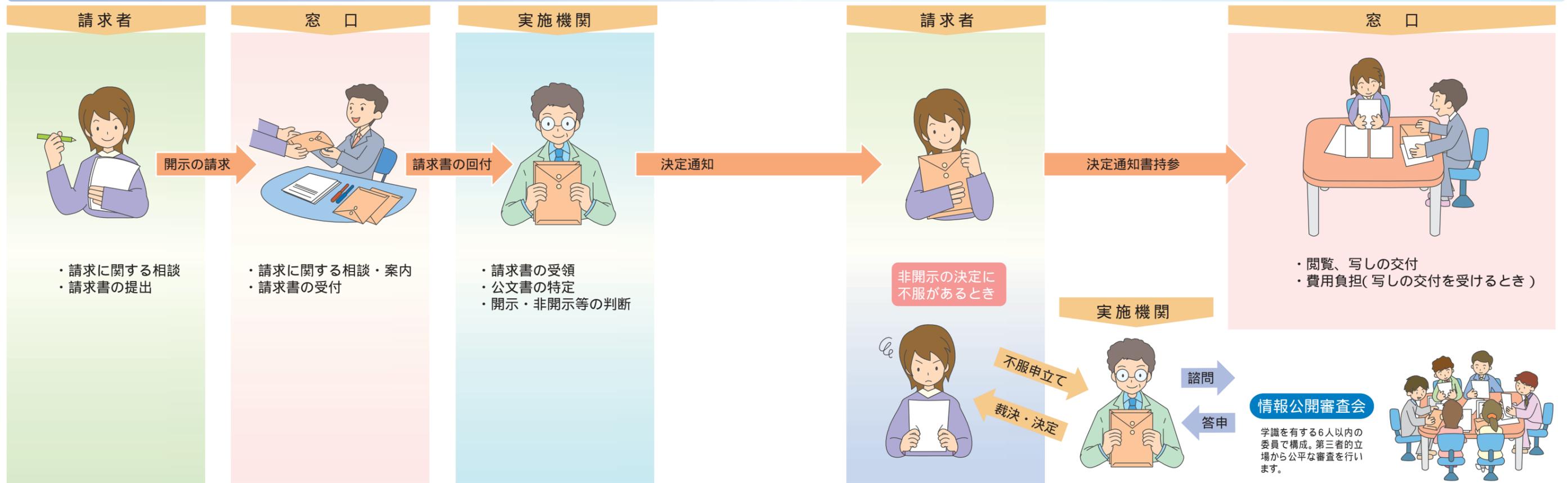
しかし、施行から十年以上が経過し、行政情報の公開を巡る住民意識の高まりや、いわゆる「情報公開法」の施行（平成十三年四月）など、情報公開を取り巻く社会情勢が大きく変化しており、より一層の情報公開の推進が求められています。

より開かれた県政をめざして

このため、県では、各界の代表者や有識者からなる情報公開制度懇話会の提言などを踏まえ、現行条例を全面的に見直し、昨年六月に改正しました。

この改正による新しい制度は、今年四月一日からスタートし、県民参加の開かれた県政をより一層進めていくものです。

開示請求から公開までの流れ



情報公開制度 Q&A

Q 誰が請求できるのですか？

A これまでは、「県民」または「県内法人・団体」に限られていましたが、今回の改正で「何人も」とし、どなたでも請求できます。

Q どのように請求するのですか？

A 「公文書開示請求書」に必要事項を記入し、見たい公文書を保有する窓口(4ページをご覧ください)に提出してください。郵送でも請求できます。また、請求書は、県のホームページからもダウンロードできます。
(<http://www.pref.toyama.jp/shinsei/>)

Q 開示を実施する機関は？

A 4月からは議会、公安委員会、警察本部長が新たに実施機関に加わり、すべての機関が対象になります。
実施機関...知事、議会、教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会、監査委員、公安委員会、警察本部長、地方労働委員会、収用委員会、海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会、公営企業管理者

Q どんな公文書が対象になるのですか？

A 県の職員が職務上作成・取得した文書、図画、電磁的記録(録音テープ、ビデオテープなどに記録された電子情報)で、組織的に用いるものとして県が保有しているものです。ただし、公文書作成の補助のため、一時的に作成した電磁的記録は対象になりません。

Q 開示されない公文書はあるのですか？

A 公文書は原則として開示ですが、次のように、例外的に開示されない情報があります。
「法令秘情報」.....法律などで公にできないと認められる情報
「個人情報」.....特定の個人が識別される情報など
「法人等情報」.....法人などの正当な利益を害するおそれのある情報など
「公共の安全等情報」...公共の安全と秩序の維持に支障を及ぼすおそれがあると認められる情報
「審議・検討等情報」...審議、検討等で、率直な意見交換や意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがある情報
「行政運営情報」.....県や国などが行う事務・事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがある情報

Q 請求するのに費用はかかるのですか？ (例)

A 開示請求や閲覧等には費用は要りません。公文書の写しの交付を希望する場合は、実費を負担していただきます。

コピー機での
白黒コピー
(A3判まで)
1枚につき 10円
(予定)

Q いつ公文書を見ることが出来るのですか？

A 請求日から15日以内に開示・非開示を決定し、書面でお知らせします。ただし、請求のあった公文書が大量にあるなど事務処理上困難な場合は、その期間を延長することがあります。この場合、延長する期間やその理由を書面でお知らせします。

Q 非開示決定に不服がある場合は？

A 不服申立てをすることができます。不服申立てを受けた実施機関は、情報公開審査会の意見を聴き、その意見を尊重して再決定します。

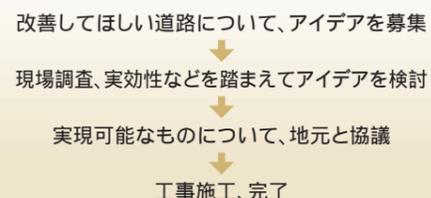
とやまのみちをフレッシュアップ!

今あるみちに、ちょっと「ひと工夫」を加えて、より安全で、もっと使いやすい道路にする「とやまのみちフレッシュアップ事業」を実施しています。

本県では、交通量の増加への対応や歩行者の安全確保を目的とし、道路整備に取り組んできていますが、その後の沿道開発などにより、整備当時と利用環境が変わってきているものがあります。

そこで、利用者の立場に立った道路整備を進めるため、平成11年度から県政モニター、ドライバーから小学生に至るまで多くの県民の皆さんにアンケートを実施するとともに、道の駅やホームページなどで道路改善のアイデアを広く募集し、実現可能なものについて改善しています。

とやまのみちフレッシュアップ事業の流れ



あなたのアイデアをお寄せください

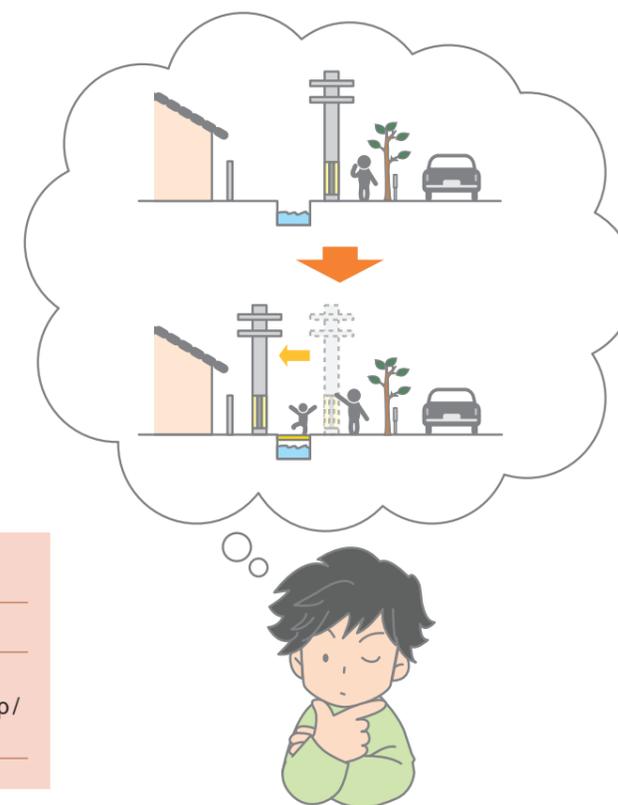
皆さんがいつも利用している身近な道路で、「もうひと工夫加えたら良くなるのに」と感じていることはありませんか？
具体的な場所とアイデア・ご意見を次のところまでお寄せください。

郵送の場合 〒930-8501(住所不要) 県庁道路課

FAXの場合 076(444)4416

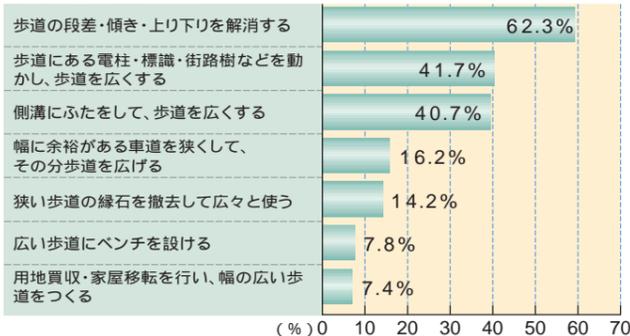
インターネットの場合
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1501/freshup/fresh.htm>

問合せは、県庁道路課まで ☎ 076(444)3319

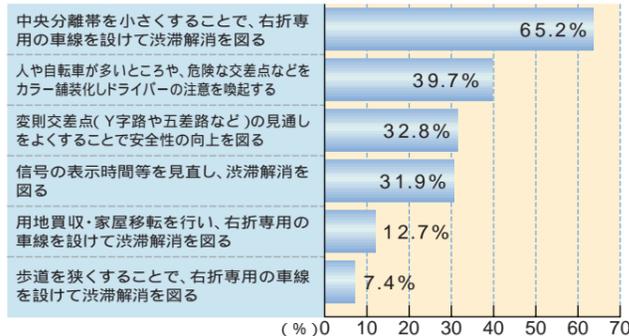


「道路に関する意識調査」(平成13年)

歩道整備への要望



交差点での事故・渋滞対策への要望



とやまのみちフレッシュアップの実例

段差解消

県道富山高岡線(富山市)



沿道への乗り入れ口が多く、歩道が波打っているため、歩きにくい。



歩道面を全体的に低くし、平坦で歩きやすくした。

歩道の拡幅

県道高岡環状線(高岡市)



歩道が狭くて、利用しにくい。



水路の上にあふたをすることで、歩道を拡幅した。

右折レーン設置

県道魚津生地入善線(魚津市)



対策前

右折レーンがないため、右折車がある場合、混雑している。



対策後

幅員構成を見直し、右折レーンを設置した。

夜間安全対策

県道富山庄川線(富山市)

対策前



周囲が暗く、夜になるとカーブがわかりにくい。

対策後



反射材を連続的に設置することで、カーブの状況をわかりやすくした。



研修や講座などで花の育て方や楽しみ方を教えてくれる。

富山県花総合センター エレガガーデン

花に関する情報を総合的に提供し、花の生産の拡大と花に親しむ意識を高めることを目的に昭和62年に開設。花の展示・栽培管理の指導のほか、花まつりや県民緑花カレッジ講座の開催などを行っている。また、グループを対象にした講習も随時行っている。

開園時間 / 午前9時～午後4時30分
入園料 / 無料
休園日 / 火曜日、祝日の翌日、年末年始(12月29日～1月3日)

県民緑花カレッジ講座
花に関する知識および栽培・活用方法などを習得してもらうことを目的に開催。年間を通して受講できる方に限る。
・草花栽培コース(全6回)
・フラワーアレンジメントコース(全5回)

県民緑花オープン講座
花に親しんでもらうことを目的に開催。年間14回開催し、毎回、講座開催日の1ヶ月前から募集する。

問合せ / ☎0763(32)1187
<http://www.pref.toyama.jp/branches/1692/1692.htm>

公共交通機関で
JR砺波駅より徒歩約20分
自家用車で
北陸自動車道砺波ICから約5分



4つある栽培温室では、新品種の種まきからその後の管理などを見学することができる。ここで育てられた花は、展示ホールやモデル花壇を彩る。



花まつりは、2月、5月、10月の年3回開催される。トリス(格子の棚)を使った立体的飾花の楽しみ方などテーマも多彩。花まつりのテーマとなった切花や鉢花などの直売も行われる。



熱帯・亜熱帯の代表的な植物や洋ランなどが一年中観賞できる展示温室。外観は、立山と散居村の住まいをイメージしている。



本館展示ホールでは、花の品種展示や販売などを行っている。簡単な操作で花づくりが学べる情報コーナーもある。



色とりどりのチューリップに囲まれた県花総合センター。春が訪れると、あたりには花の香りが漂う。



イングリッシュガーデン風花壇は、自然な雰囲気魅力。防草シートを張り、洗い砂で覆うという雑草対策にも気配りされている。

新しい情報や提案がいっぱい。
花と暮らしを結ぶ総合拠点。
見る、知る、育てる、楽しむ。とやまの花づくりの最前線。

富山県花総合センター エレガガーデン

花の情報を総合的に提供

近年、花のある暮らしを楽しむ人が増え、ガーデニングの人気はますます高くなってきている。しかし、花を育てるには、日々の管理などの知識や技術も欠かせない。

砺波市にある県花総合センターは、花を展示するだけでなく、さまざまな知識や情報を提供している。園芸の専門植物園として、見る楽しさから育てる楽しさまで教えてくれるうれしい拠点といえる。

ここでは、花壇苗や球根などの新しい品種を百品種以上栽培しており、園内にあるモデル花壇は新品種の花で美しく飾られている。年三回植え替えられるので、季節ごとにフレッシュな花を楽しめる。

花のある新しいシーンを提案

園内を歩くと、バラ花壇や西洋シャクナゲ花壇などがあり、花を楽しむながら花壇、庭づくりのヒントを見つけることができる。

イングリッシュガーデン風花壇は、一度植えると毎年花を咲かせる宿根草、球根などを利用した手間やコストのかからない花壇。木々の緑を生かし、枕木や石を使ってアクセントをつけた花壇は、癒し

を感じさせ、これからの庭づくりの参考になる。また、ミニ花壇・ミニ庭園は、限られたスペースを生かした現代住宅向けの花壇や庭づくりを提案している。狭くても上手な演出がポイントとなる。

見て育てて多彩に楽しむ

園内中央の展示温室に入ると、熱帯・亜熱帯の植物が美しい花を咲かせている。芳香植物や洋ランも多く、一年中楽しめる。

さらに奥の栽培温室では、花壇苗や鉢物の新品種が栽培されており、栽培過程を見学できる。品種の特徴や栽培ポイントなどの情報も提供してくれる。

このほか、年三回開催される花まつりでは、花の魅力や飾り方などを紹介。草花の栽培や寄せ植え、フラワーアレンジメントなどの各種講座も実施しており、利用するほど花の楽しみ方が広がる。

春が訪れると、周辺にはチューリップが咲き誇る。砺波平野のチューリップは、昨年、環境省の「かおり風景100選」に選ばれた。春の喜びをいちばん感じさせてくれる花の香り。花総合センターで、一足早く季節の訪れを感じてみたい。

2年連続で中日本新人王を育てた
トヤマボクシングジム会長

もものい さとる
桃井 悟さん

1955年生まれ 立山町在住

一昨年、昨年と、連続して中日本新人王を輩出し、富山に有望プロボクサーありと名をはせた「トヤマボクシングジム」会長の桃井悟さん(47歳)也、新人王のタイトルを手にしたことのある元プロボクサーである。だからこそ、同じ夢を抱いてジムの門を叩いてくる若者たちへの思いは強い。現在7人のプロボクサーを擁し、将来のチャンピオン誕生をめざして、後進の指導に情熱をそそぎ込んでいる。



後進に夢を託して 闘い続けるボクサー魂

とやまの

やる気・元気



練習メニューは1人1時間程度。女性に人気のボクサーサイズコース(ボクシングを基礎としたトレーニング)もある。

元プロが知る練習の厳しさ、大切さ

ジムの扉を開けるやいなや、すごい熱気に圧倒される。真剣な表情で、黙々と練習メニューに取り組む練習生たち。全身からは汗が噴き出し、トレーナーの声が飛ぶ。そのなかで睨みをきかせている桃井さんは、小柄ながら、その存在感には迫力がある。

「いつも選手に言っていることは、真面目に練習に来いということ。ここへ来れば、どんなに下手でも強くなる自信があります」

とにかく練習を続けることが大事だと言う桃井さん自身も、元プロボクサー。練習量の多さ、打たれる痛さ、減量のつらさ。プロの練習の厳しさを、誰よりもその体で知っているのだ。

あきらめないボクシング人生

桃井さんは、子どものころからボクシングに憧れ、高校を中退して東京のボクシングジムに飛び込んだ。しかし、父親の突然の病気でやむなく帰郷。それでもボクシングへの夢が捨てられず、富山でトレーニングを続けながら再びプロボクサーをめざした。二十二歳の時に西日本新人王のタイトルを獲得。その五年後に引退した。

しばらくはボクシングと無縁の生活を送ったが、ボクシングへの思いは心のなかでくすぶっていた。「夢を若い人に託して育ててみたい。そんな気持ちいだんだん強くなって、そのエネルギーを発散するのが大変でした(笑)」

昭和五十九年、前身の「桃井ボクシングクラブ」を設立し、プロボクサー育成の夢に向かってスタートした。

リングに立つ喜びを味わいたい

リングにサンドバッグひとつの小さなジム。当初は練習生もなかなか集まらず、運営に苦労もしたが、現在は練習生八〇人、そのうち七人がプロボクサー。日本ラン

キング入りが確実視されている松倉忍選手、昨年全日本新人王の決勝まで進んだ島林伸行選手、これまで四戦四勝(四KO)の戦績を残す松田朋也選手など、有望株がそろっている。

「ここまでこれたのは、トレーナーや後援会の支えがあったからこそ。そして選手たちの頑張り。練習を重ね、減量に耐え、晴れてリングに立ったときの達成感、勝ったときの感激を、選手たちに味わわせてやりたいんです」

桃井さんは、彼らを同じ夢に向かって闘う「戦友」と呼ぶ。若者たちの情熱を受け止めて、それ以上の情熱を返す桃井さんのボクシング人生には、熱いボクサー魂が燃えているようだ。



松倉選手(左)と島林選手(右)のスパarringに、桃井さんの厳しい視線が注がれる。

「銀座みゆき通りフラワーカーペット」の図案募集

毎年4月29日のみどりの日に、本県のチューリップの花びらを使い、東京・銀座みゆき通りに約300mにわたりさまざまな模様を描く「銀座みゆき通りフラワーカーペット」を実施しています。

今回、フラワーカーペットの図案を募集します。

募集作品

富山で行われるお祭り、特産品、風景、歴史など地元自慢のものを題材とした、明るく楽しい作品(シンプルでわかりやすく、図柄が大きめなもの)

募集点数

4m×10mの図案 13点

応募規定

B4横の用紙に赤、白、黄、桃、紫、緑の6色のみを使用して作成し、裏面にデザインについてのコメント、住所、氏名、年齢、性別、職業(学生の場合は、学校名と学年)、電話番号を明記して、郵送またはFAXでご応募ください。

FAXの場合は、色指定がわかるようにしてください。

1人何点でもご応募できます。

締切

4月12日(金)必着

発表

採用の場合は、4月19日(金)までに本人に通知します。(4月29日のオープニングセレモニーで採用者を紹介し、記念品を贈呈します。)

応募先

〒930-8501(住所記載不要)

県庁生産流通課「銀座みゆき通りフラワーカーペット図案」係
☎ 076(444)3271 FAX 076(444)4410

その他

- ・応募作品は返却いたしません。
- ・採用作品の著作権は主催者に帰属します。
- ・チューリップの花びらを使用する関係上、デザインを一部手直しする場合があります。

問合せ 県庁生産流通課 ☎ 076(444)3271

平成14年度黒部ルート見学会の参加者募集

黒部峡谷鉄道の樺平から黒部ダムまでを結ぶ黒部ルート見学会の参加者を募集しています。

対 象 小学5年生以上の健康な方(小学生は保護者同伴)

実 施 日 5月 22、23、29、30

6月 5、13、19、20、26、27

7月 4、11、18、24、25、31

8月 1、8、22、28、29

9月 5、12、19、25、26

10月 3、10、24、31

11月 7、14、21、28

募集締切 実施日の7週前の水曜日

コ ー ス 樺平からと黒部ダムからの2コース

定 員 両コースとも1回につき30人

参 加 費 無料(ただし、集合場所までおよび解散場所からの交通費は別途必要)

詳しくは、市役所、町村役場、県庁、関西電力県内事業所に備え付けの「見学会のご案内」をご覧ください。

問合せ 黒部ルート見学公募委員会事務局 ☎ 076(442)8263

点訳・音訳ボランティア養成講習会の受講者募集

視覚障害者のための点字・録音図書の制作にあたる、点訳・音訳ボランティアの養成講習会を開催します。

講習期間 点訳・音訳ボランティア合同養成講習

4月の毎週木曜日 午後1時30分～3時30分

点訳ボランティア養成講習

5～12月の毎週月曜日

午後1時30分～3時30分

音訳ボランティア養成講習

5～12月の毎週木曜日

午後1時30分～3時30分

対 象 すべての講習会に参加できる人で、講習終了後、ボランティアとして活動できる人

会 場 県視覚障害者福祉センター(富山市磯部町3-8-8)

定 員 点訳・音訳 各20名(先着順)

受 講 料 無料

申込締切 3月29日(金)

申込み・問合せ 県視覚障害者福祉センター

☎ 076(425)6761

精神保健福祉制度の変更のお知らせ

4月1日から、精神障害者の社会復帰と自立をよりきめ細やかに支援するため、次のとおり制度が変わります。

精神障害者の福祉に関する窓口が変わります

今まで保健所で行っていた次の業務をお住まいの市町村で行います。

通院医療費公費負担制度の申請

精神障害者保健福祉手帳の申請・受取り

社会復帰施設や各種福祉サービス利用の相談

保健医療に関する相談は引き続き保健所において行います。

精神障害者に対する在宅福祉サービスを拡充します

従来の地域生活援助事業(グループホーム)や短期入所事業(ショートステイ)に加え、居宅介護等事業(ホームヘルプ)が始まります。詳しくは、下記までお問合せください。

問合せ 県庁健康課 ☎ 076(444)3223

またはお住まいの市町村の精神保健福祉担当課

介護福祉士等修学資金制度のお知らせ

介護福祉士または社会福祉士の養成施設に在学する方で、当該施設を卒業後、県内で介護福祉士または社会福祉士として業務に従事する場合、修学資金を貸し付けています。

貸 与 額 月額 36,000円

利 率 無利子

貸与期間 貸与決定の月から卒業するまで

(ただし、正規の修学年数を限度とします。)

募集定員 30名程度

募集期間 4月1日～30日

申込方法 在学する養成施設を通じてお申し込みください

返還免除 養成施設を卒業した月から1年以内に県内で業務に従事し、その期間が7年に達した場合

問合せ 県庁社会福祉課

☎ 076(444)3197

編集後記

先月開催されたソルトレークシティー冬季五輪に、本県ゆかりの蛭沢克仁、田中珠美両選手が出場。世界の壁は厚いものでしたが、両選手の健闘には大きな拍手を送りたいと思います。これからいろいろな分野で、世界で活躍する県人の姿を期待したいですね。

県広報とやまの各世帯配布版(年3回発行)は、新聞折込で各家庭にお届けします。また、通常版(年7回発行)は、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所

県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法

郵便番号・住所・氏名・電話番号・購読回数(通常版の回数)を明記し、郵送料として1回当たり160円分の切手を同封のうえお申し込みください。

購読期間中は、通常版・各世帯配布版の両方を郵送しますが、郵送料の負担は通常版の分だけで結構です。

(例:最新号から1年間購読を希望する場合は、160円×7回=1,120円になります。)

あて先

〒930-8501(住所不要)富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

1月号プレゼント当選者

とやま健康パークの1日利用券

青木勝さん、倉田香鶴子さん、朝日ゆみ子さん、伊藤頼子さん、布一陽子さん(以上富山市)、島田佳代さん、折田等さん、高林ゆかりさん(以上高岡市)、金山純子さん(滑川市)、佐々木るり子さん(黒部市)、西村悦子さん(小矢部市)、高田美紀子さん(立山町)、大田佳昭さん(宇奈月町)、坂本恵子さん(八尾町)、藤井千鶴さん(婦中町)、中川雅子さん(婦中町)、八島文雄さん(小杉町)、長谷美佐枝さん(小杉町)、高山隆子さん(大門町)、高橋加奈さん(大門町)

正解は「花」と「緑」でした。

自動車税のグリーン化税制が適用されます

今年4月から、環境にやさしい自動車の普及を促進するため、自動車税に「グリーン化税制」が適用されます。これは、環境負荷の小さい自動車については税額が軽減され、環境負荷の大きい自動車については税額が高くなる特例措置です。

環境負荷の小さい自動車

平成13年度および14年度に次の新車を購入された場合、購入の翌年度から2年間、自動車税が軽減されます。

対象車	自動車税
低公害車のうち、電気、天然ガス、メタノール車	約50%軽減
低排出ガス認定レベルの低燃費車 (は、最新排出ガス規制値より75%以上性能がよい自動車)	
低排出ガス認定レベルの低燃費車 (は、最新排出ガス規制値より50%以上性能がよい自動車)	約25%軽減
低排出ガス認定レベルの低燃費車 (は、最新排出ガス規制値より25%以上性能がよい自動車)	約13%軽減

(注) の数は、国の認定レベルを示し、認定ステッカーなどに表記されています。

- ・低燃費車は、国の新燃費基準を満たすものです。
- ・軽減対象となる車種は、自動車販売店、国土交通省のホームページなどで確認できます。
- 国土交通省ホームページ:
http://www.mlit.go.jp/jidosha/green/green_.html
- ・平成13年度および14年度に新車登録された軽減対象車を中古車として購入された場合も自動車税が軽減されます。

環境負荷の大きい自動車

平成13年度および14年度に次の年数を超えている自動車は、その翌年度から自動車税が高くなります。

対象車	自動車税
新車登録から11年を超えているディーゼル車	約10%増
新車登録から13年を超えているガソリン車、LPG車	

(注)一般乗用バス、低公害車、被けん引車は除きます。

問合せ

富山県税事務所 ☎ 076(441)2511
富山県税事務所自動車税センター ☎ 076(424)9211
高岡県税事務所 ☎ 0766(21)9411
魚津県税事務所 ☎ 0765(24)5311
砺波県税事務所 ☎ 0763(33)5151

とやまの情報お伝えします!【3月の県政番組】

タイトルは、いずれも仮題です。

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00 ~ 11:30

3日 ふるさと探訪 ~ 富山市 ~
10日 県民の安全をまもる
17日 とやまの土木
24日 元気とやまの子どもたち
31日 平成14年度予算

とやまDASH! 富山テレビ
フォーカス・イン 毎週日曜 9:00 ~ 9:30

3日 富山のお菓子大研究
10日 ただいま修業中
17日 早春詣
24日 ユニークカルチャー教室
31日 年間総集編

富山が元気。 チューリップテレビ
見たモン勝ち2 第4日曜 10:00 ~ 10:52

24日 年間総集編

とやま県間録 FMとやま
毎週月曜 ~ 木曜 11:30 ~ 11:40
毎週土曜 11:30 ~ 11:55

このほか、新聞広報やインターネットでも
県政情報をお伝えしています。

新聞広報「県からのお知らせ」
3月30日の朝刊各紙に掲載予定
富山県ホームページ
<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ 応募お待ちしております。

県では、皆さんのアイデアで安全で利用しやすい道路を整備する「とやまのみち事業」を進めています。

を埋めてください。

答えはクローズアップを読めばわかります。

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と、本誌の感想・入手方法を記載。

あて先 / 〒930-8501(住所不要)

富山県庁広報課「県広報とやま3月号」クイズ係

締切 / 4月5日(金)(消印有効)

正解者の中から5名の方に、「とやまの音風景」のCDをプレゼントします。



近代美術館

富山市西中野町11-16
☎076(421)7111

生誕100年記念 荻須高德展
【~3/24(日)】
生涯を通して、パリの街角を愛情込めて描いた洋画家・荻須高德の作品を紹介します。
一般900円/高・大650円/小・中450円

稗田一穂展
【4/13(土)~6/2(日)】
一般900円/高・大650円/小・中450円
いずれも常設展示もご覧になれます。

9:30~17:00(入館は16:30まで)
☎月曜・祝日の翌日(3/22、4/29、5/6は開館)
常設展示観覧料 一般200円 高・大160円 小・中100円

水墨美術館

富山市五福7-77
☎076(431)3719

正宗 ~日本刀の天才とその系譜~
【~3/10(日)】

生誕100年記念 小松均展
【4/5(金)~5/6(月・休)】
本県ゆかりの画家・小松均の生誕100年を記念し、代表作など約50点を紹介します。
一般900円/高・大650円/小・中450円
いずれも常設展示もご覧になれます。

9:30~17:00(入館は16:30まで)
☎月曜・祝日の翌日(4/29、5/6は開館)
常設展示観覧料 一般200円 高・大160円 小・中100円

中央植物園

婦中町上樋田42
☎076(466)4187

平成13年度研究発表
「植物園を支える研究活動(6)」
【3/17(日)13:00~16:00】

日曜植物案内
【4/7(日)11:00~12:00】

いずれも入園料が必要です。

9:00~17:00(入園は16:30まで)
☎木曜(3/21は開館)・祝日の翌日
入園料 一般600円 小・中300円

立山カルデラ砂防博物館

富山地方鉄道立山駅前
☎076(481)1160

大型映像ウィーク「火山と人」
【3/21(祝)~31(日)11:00~14:00】
無料
迫力ある大型映像で自然のありのままの姿を紹介します。
ビジュアル講演会「火山と人」
【3/23(土)14:00~16:00】
講師/廣井修(東京大学社会情報研究所長)
伊藤和明(立山カルデラ砂防博物館名誉館長)

9:30~17:00
☎月曜・祝日の翌日
常設展示観覧料 一般400円 高・大320円 小・中200円

県民公園太閤山ランド

小杉町黒河47-416
☎076(56)6116

第3回三世交流ニュースポーツゲーム大会
【3/24(日)13:30~16:00】
カローリングやフリスビーなどのニュースポーツを体験し、得点を競います。
参加費/一般200円、小学生以下100円
当日申込み可 うちばき持参

9:00~17:00
☎火曜・祝日の翌日
入園無料(駐車料金は3/31まで無料)

自然博物館ねいの里

婦中町吉住1-11
☎076(466)5252

特別展示「ねいの里友の会写真展」
【3/15(金)~4/15(月)】
ねいの里友の会の会員が撮影した、素晴らしい自然の写真を展示します。

自然観察会「マンサクと早春の生き物」
【3/17(日)10:00~12:00】
残雪の中に黄色い花を咲かせるマンサク、万葉植物のカタクリやサンショウウオなどを観察します。
対象/小学生以上 参加費/無料 要申込3/16まで

9:00~16:00 ☎火曜・祝日の翌日
入園無料

とやま健康パーク

富山市友杉151
☎076(428)0809

春休み企画展示「アレルギー」
【3/23(土)~4/7(日)】
無料
アレルギーについてわかりやすく説明したパネル展示を行います。

☎月曜
健康スタジアム10:00~22:00(日・祝は~19:00)
1日1,800円/3時間 1,500円/2時間 1,000円
生命科学館(展示場)9:30~17:00 200円
屋外健康づくり施設 9:30~17:00 無料
小・中学生は半額、幼児は無料です。

こどもみらい館

小杉町黒河太閤山(下内)
☎076(56)9000

造形ワンダーランド「風」
【3/9(土)~4/7(日)】
春の風を感じながら、風の力を利用した様々な制作活動を行います。
材料代 100~300円

ダンボールジャングル
【3/17(日)~4/21(日)】
ダンボールで制作した大型の遊具、すべり台、シーソー、ジャングルジムなどで遊べます。

9:30~17:00 ☎火曜・第4水曜、祝日の翌日
入館無料

県民会館

富山市新総合輸4118
☎076(432)3111

再興第86回院展富山展
【3/7(木)~24(日)9:00~18:00】
昨年、東京で開催された再興第86回院展の出展作品の中から選ばれた75点を展示、今日の日本画の動向を広く紹介します。
主な出品作家
平山郁夫、郷倉和子、下田義寛、道吉勝重、西藤哲夫
一般700円/高・大550円/小・中350円
会期中は無休

総合デザインセンター

高岡市オフィスパーク5番地
☎076(62)0510

「長大作」展
【3/8(金)~31(日)】
無料
日本を代表する家具デザイナーで建築家としても活躍する長大作の1950年代から今日までの仕事を振り返ります。

9:00~17:00
会期中無休

県民ボランティア総合支援センター

富山市安住町5-21県総合福祉センター3階
☎076(433)2987

ボランティア研修会
【3/23(土)13:30~16:00】
ボランティアに関心がある方を対象にした研修会を開催いたします。
テーマ/『ボランティアってなに?』から始まるあなたのボランティア
講師/定村誠(青年海外協力隊富山県OB会会長)
定員/100名 要申込3/15まで 参加費/無料
臨時保育室があります。要申込3/8まで

9:00~21:00(日・祝は~17:00)
☎月曜
入館無料

マルチメディア情報センター

富山市高田527情報ビル5階
☎076(433)8885

マルチ情報フェア
【3/16(土)17(日)】
3次元CGの入門講座のほか、ビデオ編集、DVDやオリジナルCDの制作方法の説明・体験、CGソフトの実演を行います。
要申込(先着順) 参加費/無料

9:30~17:00
☎月曜・祝日の翌日
入館無料

各施設では、車いす用トイレや出入口段差解消のためのスロープを設置しています。



とやま 音のある 風景

森の静寂に響く 風を切る羽音。

Vol.41

ため池から飛び立つ鴨
小杉町

小杉町の南部にある射水丘陵には、数多くのため池が点在する。谷間にひっそりとたたずむ小さな池から、周囲約三千口の堂々としたものまで、大小はさまざま。江戸時代の初めころから水不足に悩むこの地の人々が、川をせき止め、造りあげてきた人工の池である。ため池は、農業用の水源として何よりも大切にされてきた。

周辺には、アカマツやコナラなどが繁り、今も豊かな自然が息づく。きれいな水と緑に野鳥たちが飛来し、中でも薬勝寺池や勅使ヶ池などでは、多くの水鳥が見られる。

グエツ、グエツ。マガモやカルガモが水面を心地よさそうに滑り、時折あげる鳴き声。声は周囲の森に反響し、静けさを際立たせる。

薬勝寺池は公園として整備され、「とやまの名水」や「とやま森林浴の森」にも選定されている。恵まれた環境で鳥たちは憩う。のびやかに羽ばたき、風を切って舞い上がる。

中には秋に訪れ、春になると再び北へと帰っていく鳥もいる。ため池は、厳しい季節にひとときの休息を与え、やさしく包み込む。やがて水面を春の風が渡り、ここを飛び立っていく日を、静かに待っている。

県内50箇所の「とやまの音風景」を収録したCDは市町村図書館などでお聴きになれます。